

ターミナルケアの取り組み

社会福祉法人 芦別慈恵園
健康管理係長 高窪ひとみ

芦別慈恵園のターミナルケア

○平成16年4月から取り組む

平成14年、本体改修、ユニットケアが始まる
⇒ご利用者の生活を一人ひとりの意思の尊重
⇒最後まで園で普通の暮らしを送ること

芦別慈恵園 介護理念

- ・利用者一人ひとりの暮らしを大切に
- ・最後まで口から食べる
- ・家族と一緒に看取る

○慈恵園でのターミナル実施者数

年度	永眠者(ターミナル)
平成17年度	12名
平成18年度	10名
平成19年度	12名
平成20年度	10名
平成21年度	10名
平成22年度	6名

※平成22年度は2月7日現在

これまでのターミナルケア・・・

- ・ターミナル=本人、ご家族の意向に関係なく「しらゆり」での生活
- ・住みなれた場所で、馴染みのある職員と過ごせない
- ・特養=「生活の場」での医療行為

・・・これでいいの？

芦別慈恵園「もみ塾」

平成22年7月発足



〔目的〕

- ・ふれあいの中でのコミュニケーション
- ・触ることにより深く知りたい
- ・気持ちが伝わるように・・・

芦別慈恵園 ターミナル期の取り組み・もみ塾

各事業所の職員6名が研修を受講

⇒看護師、介護支援専門員、相談員・・・他職種

⇒ハンド、フットケアを通して、手のぬくもいを伝える



講師 男澤千恵子氏



- ・JFA公認フットケアインストラクター
- ・日本ヒーリングケア協会
ヒーリングケアスクール札幌 代表
- ・くもん「脳」の健康教室」を
地域住民に対して展開

手技

- ①足浴
- ②状態の確認(怪我、症状など)
- ③オイルをつける
- ④手技をおこなう
- ⑤ホットタオルで温める



感謝の気持ち

- ・7月15日～空知管内看護職員研修
- ・7月27日～在宅ケアのための
料理と介護講座
- ・8月5日～もみじの家 夕涼み会



実際の
マッサージのご紹介..



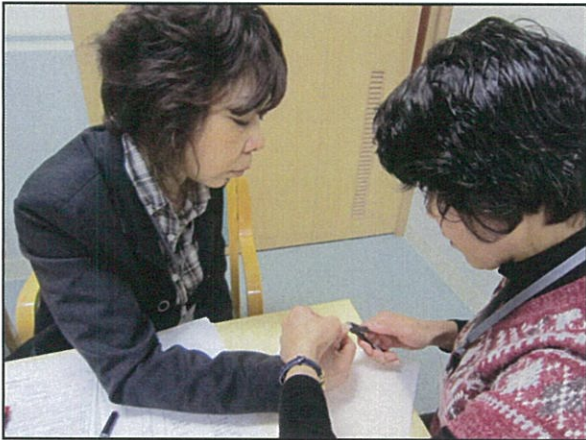
むくみ 10月



むくみ 11月







もみ塾メンバーと実施人数

氏名	職種	人数
和田直樹	介護支援専門員	名
富樫ひとみ	テイサービス運営責任者 看護師	103名
石川ひとみ	もみじの家管理者 生活相談員	名
鎌田みどり	訪問介護 サービス提供責任者	100名
横間真知子	特養介護職員	42名
菅原慎子	テイサービス介護職員	138名
松藤尚希	テイサービス生活相談員	110名

○もみ塾研修の中で

- ・講師の先生からのアドバイスを受け



わたしの目標

「ターミナル期の利用者へのケア」

事例1. N様



- ・平成20年8月入居
- ・要介護4
既往～貧血、脳梗塞
- ・几帳面で職員にも気遣いのある方
- ・新聞を読まれたり、
職員と一緒に歌を歌う事が好きだった。



11月9日

呼びかけに反応もない。酸素も上がらない・・・



**家族が見守る中
「最期のマッサージ」**





11月11日、永眠

- ご家族より・・・
 - ・ はじめ、施設に入所させることに抵抗があった
 - ・ 自宅で介護できないことに
申し訳ない気持ちで面会に来ていた
 - ・ 最期を家族と一緒に迎えることができた
 - ・ 最後に親孝行ができたと思う

ターミナルの方へのマッサージ

- むくみの軽減⇒おしっこが出る
- 血行が良くなる⇒床ずれを防ぐ
- ふれあうことで気持ちが前向き⇒生活への意欲
⇒食事中止していた方が、食事を再開したケースも

自分自身が癒される ●

これまでのターミナルケア・・・

- ・ ターミナル＝本人、ご家族の意向に関係なく
「しらゆり」での生活
- ・ 住みなれた場所で、
馴染みのある職員と過ごせない
- ・ 特養＝「生活の場」での医療行為

・・・これでいいの？ ●

最期を迎えるときに・・・

- あちこちに注射の痕⇒したくない
- 不安を少しでも和らげたい
- 最期をきれいに、気持ちよくお見送りしたい

慈恵園でのターミナルケア ●

慈恵園でのお見送り



- ご家族と一緒に最期を看取る
- 旅立ちの用意
⇒身体をきれいに拭いて、新しい服に着替える
- 焼香は法人の職員全員で・・・

今後行っていきたいこと

- 特養の看護師として感じた事、
やってきたことを一緒に行う
- 職種関係なく職員全員で・・・
- 「人」として気持ちを伝える

